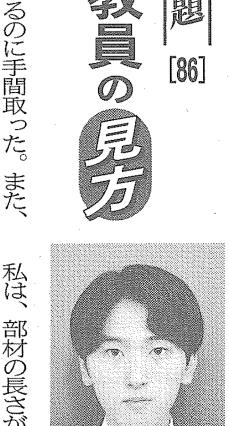
イ動産の話題 [86]

子子と教員の記



成したらあまり変わらない なものを繋ぎ合わせても完 なかった場合、新しく作り 私は、 したいと感じるが、小さ 部材の長さが足り 思っている。 だいた資料、

だろうという考えもある。

語はあまり話せませいと思っています。英 いと思っています。英 がまな人と景色を見た でまな人と景色を見た

る。

わからないが、現地でいた なものを作れたらいいなと 改修後の図面を用いて素敵 修理報告書や GURA 棟は、 元 今年度製作して

この模型を作っていく中 した建物である。

セプション兼レス

利的なこだわる難し 現地訪問の重要性

で、私はこだわりが強い方

れた製材ではなく

格寸法に

ている、



に行くまでは、改修前の図

めになることもある。現地

少しのずれが進行の足止

面をもとに作っていたた

じた。

くことがとても大切だと感

丁寧に作業を行ってい

だわりの強さの

っていくと、こ

作業で模型を作

さらに、共同

け大きな模型を作ってみ

50㎡、大人の身長ほどの

模型を作っている。これだ

縮尺が20分の1で全長17

切さを感じた。

なり、現地を見ることの大

35公の切妻の建物である。

(3年

富川朋大)

KAGURA棟は、

間口

は全然違って、完成形を想

現地に行く前と行った後で

像することができるように

高さ約9以、奥行き

学生の見方&考え方】

じ考えでつくるのは 持って完成させてい された場所について は自分のこだわりを 難しいが、自分が任 共同作業のため、同

産とできるようにしたいと

た部材が、前号の

在では入手しにく

の部材が使われて

きなものを作って自分の財

なので、大学生のうちに大

きたいと思ってい 成度のものになるか る。どれほどの、完 を進めていきたい。

とは違う基礎を作ってしま

改修前と後の違いを確

改修された実際のもの

認しながら、ずれを調整す

丸太状の梁の加工

り細部までこだわり、

強く思った。 いくために、時間のある限 完成度の高いものにして 更新後の空間を生

因になっているこ 加工の手間が増え でもこれを再現し している。 るが模型 とから、

が、

宮川さんの考えにひと

明確な答えがない課題だ

つの糸口を感じる。

教員の展開 (前島彩子教授)

や地域との関係を 動産が建てられた の製作をとおして、その不 ゼミ活動では、 時代背景 探ってい 構法模型

状ならではの苦労がみられ

しがきかず、この建物の形

高さや位置のずれはごまか

が繰り返し連続するため、

切妻の家形フレーム

建物を改修してホテルのレ **車みを感じる空間**」として 在一般的に流通し いた。現 お出す要 いこうし そろえら 矩形の規 梁には現 石酒蔵の いる KA れた建物 伝統工法 「時間の 丸太状 肝になる。 た。 的ではない。 なかなか一人でつくりあげ 作業全般にみられる課題で が、建築工事に限らず共同 がすすみにくい要因として り返し編成することも現実 どこで動き出すか分からな 観をもったチームを、いつ ることは難しい。同じ価値 を維持して協同できるかが あり、どうモチベーション 挙げられることの1つだ 種多様な技能が求められ、 い不動産の現場ごとに、繰 これは建築工事で合理化 建物を建てる際には、 多

であり、

で建てら

【訂正のお知らせ】新聞記事の一部に誤りがありました。

誤:不動産の話題 [86]

正:不動産の話題[87]